

事務事業評価資料

施策名	肉用牛振興対策	所管部局課名	農政環境部農林水産局畜産課							
事業名	和牛振興対策事業	担当者電話番号	肉用牛係 内線4087							
事業目的	遺伝的多様性のある但馬牛の牛群整備									
事業内容	農協等が行う優良雌子牛の地域内保留に要する経費の一部を補助			事業開始年度	平成20年度					
	補助対象者	兵庫県和牛振興協議会		補助対象経費						
	保留経費等の1/2以内(100千円以内/1頭)									
事業に要するコスト	区分	平成20年度決算額	平成21年度当初予算額		平成22年度当初予算額					
	事業費	(5,500千円) 5,500千円	(5,500千円) 5,500千円		(5,000千円) 5,000千円					
	人件費	847千円	従事人員 0.1人	836千円	従事人員 0.1人					
	総コスト(+)	6,347千円	従事人員 0.1人	6,336千円	従事人員 0.1人					
事業の目標	熊波・城崎系育種基礎雌牛400頭		[目標設定理由] 但馬牛の改良において、遺伝的多様性の確保を図りながら、近交係数の上昇を緩やかに抑えるために必要な育種基礎雌牛の頭数。							
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		20年度実績	21年度見込み	22年度目標	達成率(%)			
		目標値	年度				H20	H21	H22	
	新規基幹種雄牛造成頭数	毎年3頭	24年度	4頭 (1,587千円)	3頭 (2,112千円)	3頭 (1,940千円)	133.3	100.0	100.0	
熊波・城崎系育種基礎雌牛選定頭数	400頭 (133頭/年)	24年度	114頭 (56千円)	138頭 (46千円)	133頭 (44千円)	85.7	103.8	100.0		
評価結果	必要性	・兵庫県では、他県の血を入れずに県産の但馬牛のみによる純粋な改良を進めており、今後も継続していくこととしている。但馬牛はジーン・ロギング法による分類において、5系統に分類されるが、今後の改良を図るためには城崎・熊波系の繁殖雌牛の保留を推進し、遺伝的多様性の確保に努める必要がある。								
	有効性	・城崎・熊波系の繁殖雌牛の保留を推進することにより、遺伝的多様性の確保が図られ、今後の但馬牛改良への貢献が期待できる。								
	効率性	・地域の改良推進と併せて生産者も主体的に行っており、また、畜産関係団体が事務支援を実施していることから、県負担を最小限に抑えながら効率的な事業展開が図られている。								
	民間・市町との役割分担	・JA等の団体が生産者の事業参加の事務を行うとともに、地域の改良推進を図る一方、県は事業が円滑に利用されるよう助言・支援する等の役割分担を図っている。								
	受益と負担の適正化	・城崎・熊波系の繁殖雌牛から生産された子牛は、中土井系の産子より安価なため、その差額相当分を支援するが、導入・保留やその他の経費については、受益者である生産者が負担することとなっている。								
実施方針	方向性	新規	拡充	継続	実施手法の見直し					
		廃止	縮小	統合	凍結(休止)	延長	終期設定			
	実施手法の見直し内容	市町移譲	民間移譲	民間委託	PFI	負担割合変更	事務改善	その他		
説明	但馬牛の改良において、遺伝的多様性の確保を図っていくためには、本事業の継続実施が必要である。									